

(教育理念)

獅子のごとく

勇気をもって進め

撫子のごとく

真心をもって歩め

しっかりと学問を修め、専門性豊かな人、幅広い視野をもった人になろう。

ものごとに挑戦する強い意志をもち、あきらめない人になろう。

真剣に考え、話し合える人になろう。

神奈川県立上溝高等学校
第34代校長 内田 勝久

本校は、明治44年に組合立鳩川農業学校として創立し、その後7回の校名変更を経て、現在の神奈川県立上溝高等学校となりました。

平成23年11月には、創立100周年記念式典を挙行し、平成21年から始まった新校舎建設も平成27年3月23日をもって無事終了し、落ち着きのある明るい校舎が完成いたしました。これもひとえに地域の皆さまをはじめ、応援いただきました同窓生並びに保護者の皆さま等の多くの方々の献身的なご協力とご尽力によるものと感謝申し上げます。

さて、上溝高等学校内には、「なでしこのごとく」という、津田文吾元神奈川県知事の書による石碑があります。これは、学業を修め、知徳体を培い、いかなる時もきれいに咲く撫子の花のように強くあれという、昔、女子校であった時の校訓を当時の知事が書にして贈られ、それを記念碑として建立したと聞いています。

その後、昭和58年4月に再び男女共学となり、現在にいたっています。今、社会からはコミュニケーション能力が求められています。それは、自分の考えを持ち、その考えを自分の言葉でしっかりと相手に伝える能力です。それを身につけるためには、真摯に学問を修め、専門性豊かな人、幅広い視野をもつこと、ものごとに挑戦する強い意志をもつこと、さらには、物事を真剣に考え、話し合う力が必要です。男女共学となった本校の新たな教育理念にはそうした思いが込められています。

本校は、神奈川県教育委員会から、県立学校改革実施計画で「教育課程研究開発校」に指定され、取組をつづけております。

これまでも地域の皆さまのご理解、ご協力をいただきながら、成長し続けてきた上溝高等学校です。新しい校舎とともに、益々地域に根ざした学校をめざし、生徒と職員、PTA、^{なでしこ}撫子会 (PTA OB・OG会)、^{きゅうゆう}鳩友会 (同窓会) 等が一丸となって、さらに発展してまいります。